

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年4月26日】第80号



授業参観

4月19日(月), 20日(火)および21日(水), オンライン(Zoom)による授業参観が行われました。授業科目は各組とも, 担任が担当する国語や算数など, あるいは英語の2科目です。広角の撮影ができるカメラを各教室に2台設置し, すべての子どもたちの様子を終始, 撮影できるようになりました。また, 新たに集音マイクを導入し, 教員や児童の声を前回のオンライン授業参観よりも鮮明にすることができるようにいたしました。普段通りの授業を参観していただくことを方針としましたが, カメラを気にする様子も無く, 子どもたちは普段通りの姿を見せてくれました。

1年生は入学してまだ2週間しかたっていません。それでも, 先生の話真剣に聞き授業に取り組む姿に, 保護者の皆様は成長を感じたのではないのでしょうか。2年生, 3年生も, それぞれの成長が見られる授業となっていました。姿勢が悪かったり, よそ見をしていたり, 気になるところがないわけではありませんが, それより何より, 毎日楽しく登校し, 日によっては7時間目までの授業にしっかり取り組もうとする農大稲花小の子どもたちは素晴らしいと思っています。

早く芽が出ないかな

4月19日(月), 1年生の理科の授業を校長が担当し, ハツカダイコンの種まきをしました。各自がポットの土に小さな穴を作り, 3粒ずつを播種しました。早くも翌日から, 「校長先生, 芽は出ましたか?」「お家でも, ハツカダイコンの種を買ってもらいました。」などと期待の声が聞こえます。ところがその後, 寒さが戻った日が続いたこともあり, 中々, 発芽する気配がありません。若干, 深く埋めすぎたものもあるようです。校長は毎日, 大いに気をもみました。とはいえ, 24日(土)には双葉がのぞきはじめ, 安堵したところです。26日(月)にはその双葉の様子を子どもたちに見せ, 連休前には自宅に持ち帰らせる予定です。



稲花タイムでは, 農大稲花小の畑に出かけて, 1年生がトマト, 2年生はナス, 3年生はダイズの植え付けをしています。春の農作業に忙しい(?), 農大稲花小です。

ビオトープ訪問

3年生の理科では、東京農業大学第一高等学校・中等部に快くお認めいただき、お隣の高校中学校内にあるビオトープで生き物観察をしました。理科専科の教員、そして担任や学年担任に引率され、探検隊のような楽しさを感じながら、子どもたちはビオトープの豊かな自然に触れることができました。オタマジャクシのいる池では、まさかの池ポチャも2名。靴下無しでの下校となりました。

カナヘビを見たこと、タケノコの皮を拾ってきたこと、ハチの巣があったこと……と、子どもたちからの報告は、どれも生き生きとしていました。これからも、子どもたちの知的好奇心に応えられる教育環境を提供していきたいと考えています。



東京農業大学第一高等学校・中等部の校内(ビオトープ)

保護者会

4月24日(土)、本校では保護者会を開催しました。全体会は、1年生および2年生の部と3年生の部に分けて体育館で行い、校長から、学校の近況や児童の様子に加えて、教育の指標である10の能力を大切にしている成績評価、新型コロナウイルス感染防止の観点による学校行事の運営、さらに、きちんとした生活習慣や学習に向かう姿勢を今、成長のこの時期に身につけることの大切さについて、講話をいたしました。3年生の保護者には、今後の中学進学についての考え方をご紹介する機会としました。合わせて教育振興基金(寄付金)へのご協力をお願いもいたしました。

昨年は一斉臨時休業もあり、その後も、保護者の皆様に校内に入らせていただくことができませんでした。そのため、教室に入るのは初めてという1年生や2年生の保護者、2年ぶりという3年生の保護者の皆様でしたが、全体会の後には、それぞれの教室で、担任を交えた懇談に参加していただきました。保護者の皆様どうし、保護者の皆様と担任が、顔を合わせる機会は、やはり多いものだったようです。学級の一体感も生まれたのではないのでしょうか。また、本校の教育後援会役員の皆様には、教育後援会の紹介や打ち合わせもを含めた時間をもっていただきました。

ご参加の皆様には、楽しいお話も控えめ・小声をお願いし、また、使用した座席などの消毒にもご協力いただきましたこと、御礼申し上げます。

緊急事態宣言の発出

4月25日(日)から5月11日(火)までの間、本校の位置する東京都においても緊急事態宣言が発出されました。そのための本校の措置については、保護者の皆様にHP「在校生メニュー」を通して別途、お知らせしています。

今回の緊急事態宣言は、小学校の臨時一斉休業(休校)などを求めるものではありませんが、本校では引き続き、感染防止を第一に教育を行ってまいります。なお、4月29日(祝)から5月5日(祝)は、児童が家庭で過ごす期間となりますが、新型コロナウイルスの蔓延について今後の分水嶺ともなる時期です。保護者の皆様にも、新型コロナウイルスをご家庭、さらには児童が学ぶ学校に持ち込むことがないように、改めてその過ごし方についてお考えいただくようお願い申し上げます。

校長 夏秋 啓子